

# 奥州市議団:新型コロナ感染の拡大をうけ緊急申し入れ!



# 民報 おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢字久田62  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049

日本共産党奥州市議団は、4月25日、新型コロナ感染症のクラスターが発生するなど感染拡大に歯止めがかかるないことから、倉成淳市長に緊急の申し入れを行いました。申し入れには市長は公務多忙だとして小野寺隆夫副市長、各担当部長、担当者が対応しました。「申し入れ」事項についての奥州市側の対応について紹介いたします。(申し入れ全文は裏面参照)

## 3回目のワクチン接種の早期・確実な促進を!

3回目のワクチン接種について、60歳以上の方について期日・場所を指定して進めており、国(49.8%)や岩手県(52.3%)より奥州市(57.54%)は接種率が高く順調に進んでいるとし、3回目については夜間や金曜日の集団接種は行っていないと奥州市議団は、若年層の感染にかかり、「市の説明だと12歳以上17歳以下は開業医での接種となっているが」、10代の方の前倒し接種が必要だとして改めて検討することを求めました。

担当者は、今後12才以上17才以下の若年層への接種について、集団接種会場での接種も検討したいと回答しました。

## PCR検査について

岩手県によるPCR検査の定期検査は、子育て施設は先週・先々週と行われ、



抗原検査キットは、教育・保育施設、高齢者施設や障がい者施設などに配布されている。岩手県のPCR検査対象にならない人のために配布されており、必要なところで抗原検査が行われている状況だと説明。高齢者施設で6割弱、障がい者施設で3割強の使用率になっていることを明らかにしました。

ワクチン接種の副反応対策について

ワクチン接種による副反応については、奥州市として相談対応した例はないことを明らかにしました。副反応については、かかりつけ医でまず受診していただくようワクチン接種時にチラシで周知している。専門的治療が必要な場合、は県立胆沢病院が指定病院になつていると

## 事業所支援について

共産党議員団から紹介がなされた事例について、「県立胆沢病院での受診を勧めていたる」状況だと回答しました。

日本共産党  
参議院議員  
いわぶち友  
4月25日

事故を防ぐことができたのに  
対応を怠った国の責任は重い。  
原発事故で11年も続く苦し  
み、奪われたものは取り戻すこ  
とができません。

国の責任を認める判決を。



(写真はフェイスブックより)

## 第93回メーテー胆江地区集会について

先々週の「民報おうしゅう」(4月17日号)で開催案内を掲載いたしましたが、新型コロナ感染症の感染拡大を受け、メイン集会は中止となります。

主に、「街頭からの宣伝」となります。

**5月1日(日)午後1時30分から、  
「スタンディング」  
慶徳公園前(東通り)。**